

校内体制へのアプローチと心理的応急処置

関東・甲信越ブロック 2017年度第1回研修会

日時

平成29年

6月25日(日)

10時から17時

会場

早稲田大学

早稲田キャンパス 11号館

708教室(第1部及び昼休み)

709教室(第2部)

(新宿区西早稲田1-6-1)

□JR山手線/西武鉄道新宿線

高田馬場駅から徒歩20分

□地下鉄東京メトロ東西線/都電荒川線

早稲田駅から徒歩5分

□地下鉄東京メトロ副都心線

西早稲田駅から徒歩17分

対象

スクールソーシャルワーカー、
学校・教育委員会関係者、
教育者、研究者、
その他関連職種の方

内容

第1部「校内体制へのアプローチ」

10:00~12:00 講師:横井 葉子(大阪府立大学スクールソーシャルワーク評価支援研究所客員研究員/スクールソーシャルワーカー・SV)

昼休み ランチオンミーティング(交流の時間)

12:00~13:30 ファシリテータ:高石啓人(早稲田大学大学院)

第2部「子どものための心理的応急処置」

13:30~16:30 講師:澤 智恵(臨床心理士/米国マサチューセッツ州認定メンタルヘルスカウンセラー)

16:30~17:00 まとめ

参加費

【第1部】(資料代/当日徴収)

学会員:無料 / 非会員:500円

【第2部】(資料代/当日徴収)

学会員:500円 / 非会員:1000円

申込み

件名に「6/25申込み」、本文に所属、氏名、連絡先、参加される部を記入し、下記アドレスまで送信ください。

jsssw.kanto@gmail.com

先着順に受付します。演習形式のため、定員(60名)となり次第申し込みを締め切らせていただきますので、ご容赦ください。

主催



日本学校ソーシャルワーク学会
Japanese Society for the Study of School Social Work

関東・甲信越ブロック運営委員会
運営委員長 大崎 広行(目白大学)

第1部 校内体制へのアプローチ

内容：スクールソーシャルワーカーなら誰もが悩む、「学校内におけるチーム支援体制の構築」。学校や教育委員会から重い期待が寄せられる職務内容です。一つひとつ異なる学校の成り立ちや状態を見極め、それに応じた校内チーム支援体制の構築を教員とともに推進することは、子どもや保護者への効果的な支援の前提となっています。この研修では学校組織や教育行政の基礎的な知識を学んだ上で、参加者が校内体制にアプローチする上での「壁」を乗り越える方法を「効果的なスクールソーシャルワーク事業モデル」^{注)}を用いて演習形式で探ります。

注) 山野則子編著(2015)『エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク』明石書店より引用。

講師紹介 横井 葉子 大阪府立大学スクールソーシャルワーク評価支援研究所客員研究員、上智大学非常勤講師。

関東・甲信越ブロック運営委員。上智大学総合人間科学研究科博士前期課程修了(社会福祉学修士)。大阪府立大学人間社会システム科学研究科博士後期課程在籍。神奈川県教育委員会、愛川町教育委員会スクールソーシャルワーカー。厚木市教育委員会、新宿区教育委員会SSWスーパーバイザー。認定社会福祉士制度における登録スーパーバイザー。文部科学省フリースクール等に関する検討会議委員、東京都教育委員会いじめ問題対策委員会委員、東京都教育委員会都立高校自立支援チーム研修プログラム検討委員会委員。

第2部 子どものための心理的応急処置 ～ 緊急時の心理社会的ケア ～

内容：災害・事故・犯罪などの困難な出来事が発生した際、そこに携わる支援者はどのように振る舞い、何に注意するべきでしょうか。心理的応急処置(サイコソシアルフーストエイト：PFA)は「支援者が共通して身につけておくべき心構えと対応をまとめたもの」とされ、被災者・被害者らが二次被害を受けないようにするための手立て、支援者自身のケアなどに焦点が当てられています。本研修では、国立精神・神経医療研究センター 災害時こころの情報支援センターを介して学校現場をよく知る講師を招き、グループディスカッションやロールプレイなどを交えながら、PFAについて理解を深めます。それによって、日頃の援助活動、とりわけ「緊急時の支援」への一助となることを目指します。

講師紹介 澤 智恵 臨床心理士、米国マサチューセッツ州認定メンタルヘルスカウンセラー。

米国の大学院でカウンセリングを学び、卒業後は訪問型カウンセラーとして現地に於いて臨床経験を積む。2010年に帰国後、東京英語いのちの電話(TELL)におけるカウンセリング、都内の公立小学校や教育委員会でのスクールカウンセラーなどに従事。現在はTELLでの勤務に加え、大学の学生相談室で臨床を行っている。また、2011年に起きた東日本大震災を機に、国際ナショナルメディカルコープス(IMC)によるPFA指導者研修を修了。以後、国立精神・神経医療研究センター 災害時こころの情報支援センターの依頼を受け、各地でPFA研修の講師を務めている。

主催



日本学校ソーシャルワーク学会
Japanese Society for the Study of School Social Work

関東・甲信越ブロック運営委員会
運営委員長 大崎 広行(目白大学)